

法学研究科法律実務専攻(法科大学院) アセスメント・チェックリスト

法学研究科法律実務専攻の学位授与水準(DP)

DP1	【高度な専門性】基本的法分野における体系的で深い理解を有する。
DP2	【高度な専門性】先端的・応用的法分野における専門的知識を有する。
DP3	【高度な専門性】これらの知識を実践の場で使いこなす実践的知識を有する。
DP4	【幅広い視野・人権感覚・倫理性】柔軟で創造的な思考力を有する。
DP5	【幅広い視野・人権感覚・倫理性】交渉能力と説得能力を有する。
DP6	【幅広い視野・人権感覚・倫理性】人権感覚・倫理性を有する。
DP7	【国際性・学際性】グローバル化のなかでの比較法的知識と語学力を有する。
DP8	【国際性・学際性】他の専門分野に対する理解力を有する。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容, 質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	5月, 7月, 11月, 1月	毎年	1~3年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を授業担当教員にフィードバックし, 教育方法改善の指針を与える。	法学研究科
2	大学院生調査	随時	1年に1回	1~3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革の参考とする。	総合IR室
3	修了時アンケート	随時	毎年	修了予定学生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等	質問紙	学生	カリキュラム・教育制度改善の参考とする。	法学研究科
4	OB/OGアンケート	12月	毎年	修了後9年目の修了生	・大学院教育の有用性と現在の状況	質問紙	修了生	カリキュラム・教育制度改善の参考とする。	法学研究科
5	企業等調査 (就職先調査)	1~3月	3年に1回	修了生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき, カリキュラム改革を検討する。	総合IR室